

記者発表（資料配布）				
月／日 （曜日）	担当部署名	電話番号 （ダイヤルイン）	発表者名 （担当名）	その他配布先
3／15 （金） 14:00	県立考古博物館 企画広報課	(079)437-5589	事業部長 平田 博幸 （学芸課長 藤田 淳）	東播磨県民局

特別展「縄文土器とその世界－兵庫の1万年－」の開催について

兵庫県立考古博物館では、平成31年4月20日（土）～6月23日（日）の会期で、特別展「縄文土器とその世界－兵庫の1万年－」を開催します。

約1万5千年前、初めて土器が作られてから縄文人は1年以上にわたり縄文土器を作り続けてきました。その造形は地域や時期によって大きく異なることから、年代の決め手になるとともに縄文人の精神世界を反映するものです。今回の展示では、縄文文化を代表する火焰型土器や重要文化財の注口土器、特殊な眼鏡をかけたような遮光器土偶とともに、県内の縄文遺跡から厳選された約250点の土器や土偶などから、縄文世界を感じていただきます。

※特別展の詳細については、別添の特別展のみどころ及びチラシのとおり

特別展

縄文土器 と その世界

— 兵庫の1万年 —

2019年
4月20日(土)～6月23日(日)

| 観覧時間 | 午前9時30分～午後6時 (有料ゾーンへの入場は午後5時30分まで)
| 休館日 | 月曜日 ※祝休日の場合翌平日
| 観覧料 | 大人: 500 (400) 円 | 大学生: 400 (300) 円 | 高校生以下無料
※()は20名以上の団体料金 ※障害者手帳提示で本人は75%減免、介助者1名まで無料
※70歳以上の方は大人料金の半額

| 主催 | 兵庫県立考古博物館
| 後援 | 兵庫県 兵庫県教育委員会 NHK 神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西
| 協力 | (公財)兵庫県まちづくり技術センター 山陽電気鉄道株式会社 ひょうご考古倶楽部

I. 下柳ヶ瀬遺跡 (姫路市) 深鉢型土器 (兵庫県立考古博物館蔵) II. 佃遺跡 (淡路市) 浅鉢型土器 (兵庫県立考古博物館蔵)
III. 諏訪前遺跡 (新潟県津南町) 火焔型土器 (新潟県津南町教育委員会蔵)
IV. 亀ヶ岡遺跡 (青森県つがる市) 透光土器偶 (辰馬考古資料館蔵) V. 佃遺跡 (淡路市) 注口土器 (兵庫県立考古博物館蔵)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド。

兵庫県立考古博物館

Hyogo Prefectural Museum of Archaeology



I



II



III



V



IV

講演会

※混雑時は開始時間を早める場合があります
当館講堂 13:30～15:00(12:50 開場) 定員 120 名

4月20日(土)『縄文文化の世界同時代史』

泉 拓良 京都大学名誉教授・奈良大学名誉教授
弘前大学人文社会科学部客員研究員

5月11日(土)『雪国の火焰土器文化』

佐藤雅一 新潟県津南町教育委員会学芸員
(講演後に「本物の火焰型土器をさわってみよう!」を開催します。)

5月18日(土)『いま明らかになる兵庫の縄文』

深井明比古 当館社会教育推進専門員

5月25日(土)『土器棺墓ー生と死を媒介する縄文土器』

岡田憲一 奈良県立橿原考古学研究所指導研究員

6月8日(土)『ひょうご5カ国の縄文を歩いたころ』

石野博信 当館名誉館長

関連イベント

ゴールデンウィークイベント

5月3日(金・祝)『体感!縄文時代』

時間:13:00～15:00 予約不要 当日受付 無料 どなたでも

- ・8千年前の押型文土器(複製品)をくっつけよう!
- ・本物の火焰型土器をさわってみよう!
- ・縄文の響き「土器太鼓」をたたいてみよう!

遺跡ウォーク【要予約 電話でお申込み受付 4/2(火)～ ☎079-437-5562(学芸課)】

6月1日(土)『縄文遺跡と日本遺産を巡る

ー福本遺跡から銀の馬車道までー】

体験イベント【要予約 往復ハガキでお申込み受付】

(※定員に満たない場合は、1週間前まで電話でも受け付けます ☎079-437-5564(学習支援課))

6月15日(土)『“ハンベルマン”引っ張ると踊る土偶をつくろう!』

受付開始4月20日(土)～ 時間:13:30～15:00 定員:20名 料金:100円 対象:小学4年生～
応募〆切5月4日(土)必着

6月16日(日)『縄文土器文様のペン立てをつくろう!』

受付開始4月21日(日)～ 時間:10:00～15:00 定員:15名 料金:400円 対象:小学4年生～
応募〆切5月5日(日)必着

6月22日(土)『“縄文の仮面”土面をつくろう!』

受付開始4月27日(土)～ 時間:13:30～15:30 定員:15名 料金:200円 対象:小学生～
応募〆切5月11日(土)必着

申し込み方法 ●往復ハガキに下記の内容を記入してお送りください。●抽選の結果を返信はがきでお知らせいたします。

62円 往復 6755-01142 兵庫県立考古博物館 学習支援課 行 加古郡播磨町大中1-1-1	62円 返信 あなたのお名前 あなたのご住所	郵便番号記入 0000-0000 講座開催日 講座名 住所 参加者氏名・年齢 ※複数名で参加される場合は 全員分の氏名・年齢を お書きください ※はがき1枚につき4名まで 電話番号 ※複数名で参加される場合は 講座当日に連絡のつく 代表者の電話番号を お書きください
往信の宛名面	返信の宛名面	往信の内容

特別展解説 会期中の毎日曜日 13:30～14:00

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。
兵庫県立考古博物館
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

〒675-0142 加古郡播磨町大中 1-1-1

電話 | 079-437-5589

H P | <http://www.hyogo-koukoku.jp/>



アクセス

電車 | JR 土山駅南口から「であいのみち」を徒歩 15 分
・山陽電車播磨町駅から喜瀬川に沿って徒歩 25 分

車 | 第 2 神明・加古川バイパス明石西 IC から約 3 km

※博物館に駐車場はありません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。周辺には播磨町大中遺跡公園駐車場(64 台/有料)と播磨町野添であい公園駐車場(50 台/有料)があります。



約 1 万 5 千年前、初めて土器が作られてから縄文人は 1 万年以上にわたり縄文土器を作り続けてきました。その造形は地域や時期によって大きく異なることから年代の決め手になるとともに、縄文人の精神世界を反映するものです。

本展では縄文文化を代表する火焰型土器や重要文化財の注口土器、特殊な眼鏡を掛けたような遮光器土偶とともに、県内の縄文遺跡から厳選された約 250 点の土器や土偶等から、縄文世界を感じていただきます。



佃遺跡(淡路市) 縄文後期の土器たち(兵庫県立考古博物館蔵)

特別展

縄文土器 と その世界

ー兵庫の 1 万年ー

2019 年

4月20日(土)～6月23日(日)



特別展「縄文土器とその世界－兵庫の1万年－」のみどころ

約15,000年前に始まった縄文時代は、それまで寒冷な気候だった旧石器時代から温暖化に転じたことで、海面上昇や植生の変化など環境が大きく変動した時期にあたります。

これに伴い人々の生活も大きく変化しました。なかでも土器は食糧の煮炊きに欠かせない調理道具であるとともに、形態などには時代の変化や地域の特色が如実に表れており、時代を表す資料として特に重要な存在です。

兵庫県では過去30年間の発掘調査で縄文時代の遺跡も多数調査されました。土器の特徴によって各地域の共通性の変化が読み取れ、西日本や東日本との交流も明らかになってきました。

本展では、日本を代表する縄文芸術にあふれる展示品をとおして縄文人の心を感じていただきます。

また県内各地域の縄文時代草創期から晩期までの1万年以上に及ぶ縄文時代の土器から時代の変化を読み取るとともに、精神世界や広域的な交流などの縄文世界を検証し、当時の社会や生活の実態にせまります。

会 期 平成31年4月20日（土）～6月23日（日）

時 間 午前9時30分～午後6時（入場は午後5時30分まで）

主 催 兵庫県立考古博物館

後 援 兵庫県 兵庫県教育委員会 NHK神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西

協 力（公財）兵庫県まちづくり技術センター 山陽電気鉄道株式会社 ひょうご考古楽倶楽部

展示構成

- 1 プロローグ 縄文その造形
- 2 土器が語る時代の変化
- 3 祈りの道具と装身具
- 4 交流の証
- 5 エピローグ 縄文の食糧と米づくり・そして弥生へ

主な展示資料

火焰型土器 注口土器 深鉢形土器

木葉形尖頭器 有茎尖頭器 押型文土器 中津式深鉢形土器 浅鉢型土器

マツリの道具（遮光器土偶 土面 石棒）装身具（垂飾 玦状耳飾 耳栓 勾玉）

列島各地の影響を受けた土器（東北・関東などの東日本、山陰・九州などの西日本、朝鮮半島系ほか）

列島各地から持ち込まれた石器の材料（黒曜石 サヌカイト 結晶片岩）

縄文の食糧と米作り（ドングリ貯蔵穴立体剥取 粃痕土器 凸帯文土器 石包丁 炭化米）

弥生の水田稲作（弥生時代の炭化米 壺 甕 鉢 彩文土器 彩文木製鉢）

◆講演会（参加費無料） 開催時間：13:30～15:00 定員：120人 場所：当館講堂

4月20日（土）「縄文文化の世界同時代史」

泉 拓良（京都大学・奈良大学名誉教授 弘前大学人文社会科学部客員研究員）

5月11日（土）「雪国の火焰土器文化」

佐藤 雅一（新潟県津南町教育委員会学芸員）

講演後本物の火焰型土器をさわってみよう！を開催

5月18日（土）「いま明らかになる兵庫の縄文」

深井 明比古（当館社会教育推進専門員）

5月25日（土）「土器棺墓－生と死を媒介する縄文土器－」

岡田 憲一（奈良県立橿原考古学研究所指導研究員）

6月8日（土）「ひょうご5カ国の縄文を歩いたところ」

石野 博信（当館名誉館長）

◆関連イベント

ゴールデンウィークイベント「体感！縄文時代」

日時：5月3日（金祝）13:00～15:00

遺跡ウォーク「縄文遺跡と日本遺産を巡る－福本遺跡から銀の馬車道まで－」

日時：6月1日（土）10:00～15:30 定員：20人 参加費：200円 対象：どなたでも

※要予約 4月2日から電話受付（学芸課 079-437-5562 まで）

※特別展の詳細及びイベントなどについてはチラシをご覧ください。

問い合わせ：兵庫県立考古博物館 学芸課 担当：深井 明比古（ふかい あきひこ）

TEL 079-437-5562（学芸課直通）

